

皆さま、もう明日より9月ですが、どこもまだまだ厳しい暑さです。心より残暑お見舞い申し上げます。私は昨日朝早くから庭の草むしりを1時間半ほどしたのですが、どうもそのあと体調がおかしい。昨日打ったコロナワクチンの副作用かとも思ったのですが・・・冷静に考えると熱中症だったように思います。どうぞ皆さまもお気をつけ下さい。

●本号からメルマガをPDFでお送りいたします。また、バックナンバーをHPから閲覧・ダウンロードできるようにもしていきますので、どうぞご活用下さい。

第8回しきかく学習カラーメイトオンラインの集い

内容 「少数色覚児童生徒の進路保障はどう進めればよいか」

日時 2022年10月1日(土)13:00(開場12:30)～15:00終了予定

ここ大分の県教委調査では、高校生の就職試験で行われた健康診断で、2021年度色覚検査を行った事例が31件(電気関連13件、化学関連14件、鉄道3件、その他1件)あり、前年の44件より減っているものの「色覚を問う事業所」はまだ多く見られます。

一方、進路についての相談もカラーメイトに寄せられています。電話でのお答えがうまく伝わっているか心配な面もありますが、相談者の一人から次のようなことを言われました。

「色覚の違いについて(尾家の)話を聞いてわかったつもりだったが、進路に関する問題まで理解できていなかった・・・」それは、とても考えさせられる重い言葉でした。

今月、高校の先生方の学習会に招かれ、「色盲検査と色盲検査と進路保障—少数色覚者の人権問題—」というタイトルでお話ししてきました。HPにレジメと参加者からの声を一部載せていますのでご覧下さい(該当ページは[こちらから](#)、[参加者の声とレジメPDFはこちら](#))。

今回のオンラインの集いでは、YoutubeのChカラーメイトに「進路に関するビデオ」をアップするにあたり、試作を皆さん方にご覧いただき、ともに学習していき、ご意見等をもとにビデオを完成させたいと思っています。

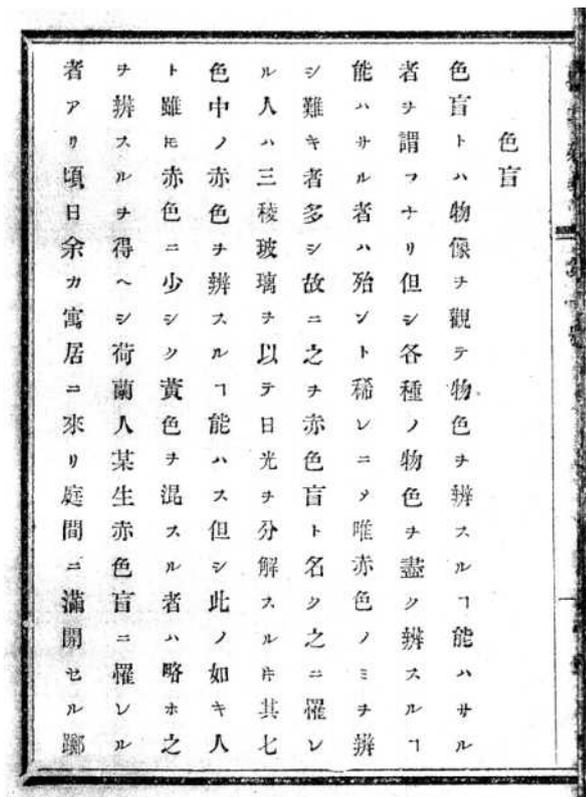
どうぞ、お力添えをよろしくお願いいたします。

<ミニ知識>

講演のタイトルの「色盲」という言葉が気になった方もおられると思います。これは、ある意味を込めて使用しています。この言葉は実際何を表すかご存じでしょうか？

日本で初めて色盲の語が書籍に初めて登場したのは、1876(明治9)年に発刊された「医事雑報 第1号」(大阪府病院刊)でした。そこには「色盲トハ物像ヲ観テ物色ヲ弁スルコト(コト)能(アタ)ハサル者ヲ謂(イ)フナリ」と記されています。これはオランダ人医師のエレメンスが講義したものの和訳で、現代

↓ 医事雑報「色盲」の冒頭部



語に訳すと「色盲とは、物を観てその物の色を識別することができない者を言う」となり、少数色覚そのものではなく、「人」をさす言葉なのです。「色盲」は Color blindness の訳語でもあり、後に医学用語にもなるのですが、その語義は「鉄道信号等の判別が出来ず、その仕事から排除するべき人」なのです。

しきかく学習カラーメイトは、色覚検査をするべきとかするべきでないという立場で論議はしません。問題は、検査の結果を何に活用するかで、それこそが問われるべきだと考えているからです。

現在は「色覚検査」と言う言葉が多用されますが、「子どもの色の感じ方を知る検査」とは言えない検査になっていることが多い気がしています。今、学校や医療機関で行われている「その検査」は、その結果で何かしらの職業から排除しようと目的を持てば「色覚検査」ではなく「色盲検査」と呼ぶべきです。その結びつけの是非こそ問うべきだと考えています。

つまり子どもたちに「確かな未来を得るための進路を保障する」という教育の観点から、「色盲検査」的役割を果たしていないかどうか問うべきだと考えているのです。

そういう意味を持ち、次回のオンライン学習会を開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

◎こんなページご存じですか？

[集英社 学芸の森](#)

川端裕人さんの連載で、いずれ本にする予定だということです。ご覧下さい。

[Wedge REPORT 日本が抱える色覚の課題 宇宙飛行士にも`多様性`の確保を](#)

同じく川端さんの文章で、Wedge という JR 系の雑誌に掲載されたものです。

◎ご案内

「NPO 人にやさしい色づかいをすすめる会」より、オンライン勉強会のご案内をお受けしました。

9月23日(金祝)14:00~

内容 [講演「教科書会社が目指すカラーユニバーサルデザイン - あたりまえを実現するための取り組み - 」](#)

Zoom 活用 参加費無料 申込期限 9月21日 17:00(定員に達し次第、締切)

本メルマガの購読者の方も参加できますのでご興味のある方はリンクを開いて確認して下さい。

記事に関して、ご質問などがございましたら info@color-mate.net までご連絡ください。〈文責尾家宏昭〉